

科目ナンバリング		G-HUM35 50000 LJ38									
授業科目名 <英訳>		東アジア人文情報学 2 A Advanced Topics in East Asian Information 2A				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 Wittern, Christian			
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	月3	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
分野名		東アジア文化論									
【授業の概要・目的】											
今の学術環境では、自然科学、社会科学のみならず人文科学の諸分野においても、その学術研究と勉学を支援する道具としてのコンピュータの使用は不可欠である。本科目では、特に東アジア諸国の文献や漢籍を対象に、その文献にふさわしいモデルを考察した上で、編集文献学的な観点から、それに必要な記述方法(XML等)を学ぶ。											
【到達目標】											
デジタル・テキスト編集の課題、問題、方法等を理解して、自主的に適応出来る様になります。前期の授業では基本的な方法で有るXMLのデータ記述言語を中心に学びますのでマークアップ付きテキストの作成ができます。											
【授業計画と内容】											
前置き											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人文情報学のテーマ</li> <li>・ 人文情報学におけるモデリングの役割と方法</li> </ul>											
電子テキスト論											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ティストとは何か？</li> <li>・ 文献学におけるテキスト概念</li> <li>・ デジタルテキストの特徴</li> </ul>											
電子テキストに必要な技術											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マークアップ (Markup)</li> <li>・ HTML、XMLの仕組み</li> <li>・ スキーマの作り方</li> </ul>											
テキスト・エンコーディング・イニシアチブ(TEI)											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿革と目的</li> <li>・ 基本的な仕組み</li> <li>・ プロジェクトへの応用</li> </ul>											
【履修要件】											
基本的なコンピューター-リテラシー、英語でのアカデミック・リーディング。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
期末レポートと練習課題及び出席状況により評価するが、授業の積極的な参加姿勢も考慮に入れる。											
【教科書】											
適宜、資料を配付、授業HPに掲載する。											
----- 東アジア人文情報学 2 A(2)へ続く -----											

**[参考書等]**

(参考書)

Willard McCarty: Humanities Computing, Houndmills, Hampshire and New York, 2005 (Palgrave MacMillan)

Julia Flanders, Fotis Jannidis (ed.): The Shape of Data in Digital Humanities

Modeling Texts and Text-based Resources, 1st Edition, New York 2019 (Routledge)

Susan Schreibman, Ray Siemens and John Unsworth (ed.): A New Companion to Digital Humanities, 2nd Edition, Malden MA, Oxford and Victoria, 2015 (Blackwell Publishing)

Erik T. Ray: 入門 XML(第2版), Sebastopol et.al, 2004 (O'Reilly)

TEI Consortium (ed.): Guidelines for Electronic Text Encoding and Interchange ==>

<http://www.tei-c.org/release/doc/tei-p5-doc/en/html/index.html>

**[授業外学習(予習・復習)等]**

毎回リーディングと課題があります、それは授業進行の前提となりますので、評価には大きな部分を示しています。

**(その他(オフィスアワー等))**

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。